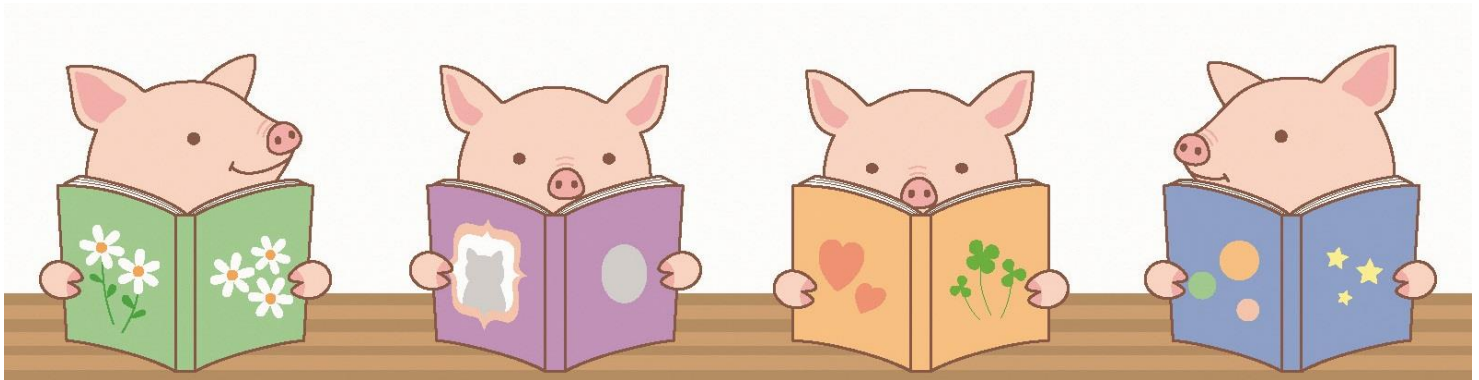


絵本はともだち

セカンドブックリスト

3歳から5歳向けのおすすめ絵本のご紹介

宇治市図書館



はじめに・・・・・・・・・・2
絵本の選び方・・・・・・・・・・2
図書館のおはなし会・・・・・・・・2
楽しくおはなしに親しもう・・3
 うずらちゃんのかくれんぼ
 11ぴきのねこ
 ねずみくんのチョッキ
 ぼちぼちいこか
 おばけのてんぷら
安心できる人と一緒に・・・・・・・・5
 かいじゅうたちのいるところ
 めっきらもっきらどおんどん
 パパ、お月さまとって！
 こすずめのぼうけん
 14ひきのあさごはん

生活習慣を身につけよう・・7
 どろんこハリー
 ぐるんぱのようちえん
 おふろだいすき
 からすのパンやさん
 あさですよよるですよ
想像力をはぐくむ・・・・・・・・9
 ゴムあたまポンたろう
 まあちゃんのながいかみ
 てぶくろ
 わたしのワンピース
 はらぺこあおむし

ともだちっていいな・・・・・・・・11
 そらまめくんのベッド
 ルラルさんのにわ
 ぐりとぐら
 どうぞのいす
 どんなにきみがすきだかあてて
 ごらん
勇敢に立ち向かう・・・・・・・・13
 しょうぼうじどうしゃじふた
 ラチとらいおん
 おだんごぱん
 三びきのやぎのからがらどん
 ももたろう

*各ページの発達コラムは、発達心理学の
専門家 京都文教短期大学 幼児教育学科
鳥丸佐知子教授にご執筆いただきました。





はじめに

この度、2022年11月に発行したセカンドブックリストをリニューアルしました。

3歳頃になると、理解する語彙が急激に増え、音や絵に加え、おはなしを楽しめるようになります。子どもたちも読み聞かせに夢中になって絵本を見つめています。

「いろんな絵本を読み聞かせてあげたいと思うけど、どんな絵本がいいかな」と思ったら、このブックリストをご覧ください。きっと素敵な絵本と出会えますよ。

ここでご紹介している絵本は、すべて宇治市の図書館が所蔵し貸出が可能です。図書館を活用し、子どもたちにたくさん絵本を読み聞かせてあげてください。



絵本の選び方

- **ベストセラーよりロングセラーのものを選びましょう。**

ロングセラーとは、長く読み継がれてきた本のことです。時代がたっても出版され続ける絵本には、子どもの心を捉えて離さない魅力があります。

- **いろいろな作者の作品を読みましょう。**

幼児期は、五感が著しく発達を遂げる時期です。特定の作者に偏らず、様々な絵・言葉・テーマの絵本に触れ、子どもの心と感性を育んであげてください。

- **子どもが求めてくる限り、何度も読みましょう。**

大人が文字を読んでいる間、子どもは絵を読んでいます。読む毎に絵のすみずみまでを観察し、新しい発見をしたり、物語への理解を深めていきます。



図書館のおはなし会

図書館では、毎月3歳～小学校低学年向けのおはなし会を開催しています。

- 中央図書館
第1日曜日 10:30～11:00
- 東宇治図書館
第2日曜日 10:30～11:00
- 西宇治図書館
第3水曜日 15:30～16:00



うずらちゃんのかくれんぼ

きもと ももこ/作
福音館書店

シリーズ
あり



あそび おやこ

うずらちゃんが、ひよこちゃんとかくれんぼを始めました。「もういいかい」「まあだよ」、2羽は自分の体の色や形を生かし、花びらやひょうたん、きのこの中に上手にかくれます。色鮮やかに描かれた可愛らしいうずらちゃんやひよこちゃんと一緒に、かくれんぼ遊びを楽しめる絵本です。



楽しくおはなしに 親しもう

4歳前後の子どもは、身近な生活経験を「ごっこ遊び」に取り入れ、大人の真似をするのが大好きです。また身近な大人の仕事や生活に興味を持ち、自分でもやりたがります。ただし内容を十分に理解しているわけではありません。

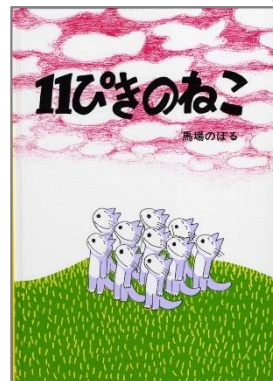
だからこそ、絵本の中で表現される日常生活や仕事・遊びに様々なイメージをいただきます。なんか面白そう、この先どうなるのかな、自分にもできるかな。時には友だちとイメージを共有しながら、空想の翼を自由に羽ばたかせるのです。



11ぴきのねこ

馬場 のぼる/著
こぐま社

シリーズ
あり



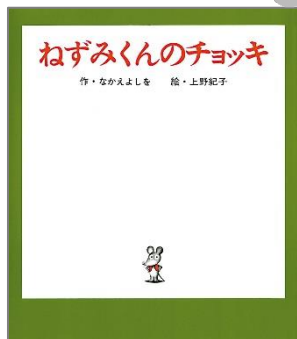
なかま ぼうけん

しま模様のとらねこたいしょうと10ぴきの仲間たちは、いつもお腹がペコペコ。ある日おじいさんねこに教えられ、大きな魚を捕まえに湖へ出かけます。果たしてねこたちは大きな魚を捕まえ、無事に持ち帰ることはできたのでしょうか…。漫画家としても知られる馬場のぼるが描くロングセラー絵本です。

ねずみくんのチョコッキ

なかえ よしを/作 上野 紀子/絵
ポプラ社

シリーズ
あり

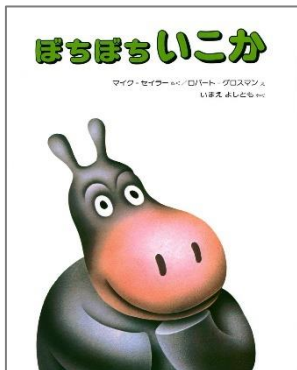


ともだち

おかあさんが編んでくれた、ねずみくんにピッタリの赤いチョコッキ。「ちょっときせてよ」あひるくんにさるくん、あしかくと、チョコッキを着たがる動物が次々と現れます。大切なチョコッキがどんどん伸びてしまい…。緑の枠に白黒のキャラクター、赤いチョコッキが際立つシンプルな絵に想像が膨らみます。

ぼちぼちいこか

マイク セイラー/作
ロバート グロスマン/絵
いまえよしも/訳
偕成社



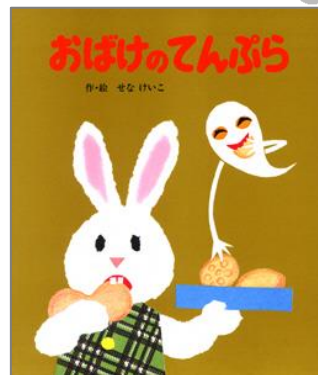
おしごと

消防士、船乗り、パイロット…。カバ君はたくさんの仕事に挑戦しますが、体が大きすぎてどれもうまくいきません。それでも失敗なんて気にせず「ま、ぼちぼちいこか」とひとやすみ。カバ君、次はどんな仕事をするのかな？カラフルでユーモラスな絵と関西弁の軽快な語り口がユニークな絵本です。

おばけのてんぷら

せな けいこ/作・絵
ポプラ社

シリーズ
あり



ともだち

うさこは、たべることがだいすき。友だちに作り方を教えてもらって、てんぷらを作ることにしました。すると、てんぷらのいい匂いにつられて、おばけがやってきて…。あたたかみを感じる独特な貼り絵は、おばけだってかわいく見せてしまいます。マイペースなうさことおばけとのやりとりが楽しい一冊です。

かいじゅうたちの いるところ

モーリス・センダック/作
じんぐうてるお/訳
富山房



ファンタジー

いたずらのすぎたマックスは、お母さんに寝室にほうりこまれてしまいました。やがて寝室に木が生えて、森になり、波が運んできた船にのって、かいじゅうたちがいるところに着いたマックスは、かいじゅうたちの王様になりましたが…。おはなしに合わせたかいじゅうたちの表情にも注目してほしい絵本です。



安心できる人と 一緒に

不安なとき、特定のだれかにくっついて安心しようとする傾向を「アタッチメント（愛着）」と呼んでいます。安定した愛着関係を築くことができた子どもは、そこを「安全基地」として、盛んに自分なりの遊びや冒険を試みます。

新しい不思議な世界への冒険も、そこで味わう喜びや悲しみ・不安も、分かち合いたいのは信頼する家族。必ず自分を見守り、いざというときにはしっかり受け止めてくれる、戻ってくるのできる家族があつてこそ、可能になるのです。



めっきらもつきら どおんどん

長谷川 摂子/作 ふりや なな/画
福音館書店

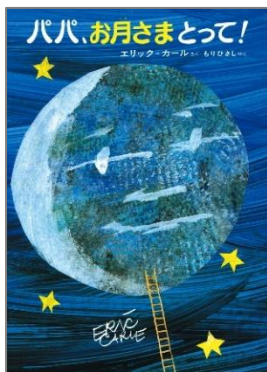


夏 ともだち ファンタジー

主人公のかんたは、遊び相手を探すうち、神社で不思議な世界に迷い込みます。そこで出会ったへんてこ3人組と愉快的な遊びに夢中になりますが、次第に心細くなってきて…。表紙絵のような奇妙な世界から、お母さんのいる日常へ帰れるのでしょうか。楽しい語感が物語を盛り上げるファンタジー絵本です。

パパ、お月さまとって!

エリック＝カール/作
もり ひさし/訳
偕成社



おやこ しかけ しぜん

「パパ、お月さまとって。」娘のモニカの願いを叶えるため、パパは“ながーいはしご”を持って、お月さまをとりに出かけます。果たして、パパは大きな大きなお月さまを家に持って帰ることができるのでしょうか。月の満ち欠けの様子、鮮やかな色彩、ダイナミックなしかけがひとときわ目をひく絵本です。

こすずめのぼうけん

ルース・エインズワース/作
堀内 誠一/画 石井 桃子/訳
福音館書店



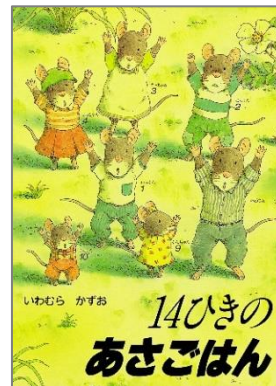
おやこ しぜん いきもの

羽がはえ揃い、飛ぶ練習を始めたこすずめは、嬉しくてお母さんの目の届かない遠くまで行ってしまいました。疲れたこすずめは休む場所を探しますが…。初めて自分で何かができた喜びと、迷子になった不安な気持ちを、親子で一緒に体験できます。豊かな自然の風景が水彩とクレヨンで美しく描かれた一冊です。

14 ひきのあさごはん

いわむらかずお/作
童心社

シリーズ
あり



かぞく 春 せいかつ

14匹のねずみ一家のお話。見開きいっぱいを使い、朝ごはんの準備をする14匹の様子が細やかに瑞々しく描かれています。おやおや、お寝坊さんのねずみがいますよ。誰かな？添えられている文章からだけではなく、絵から発見できる14匹の個性は絵本を開くたびに増え、子どもの心をつかみます。

どろんこハリー

ジーン・ジオン/文
マーガレット・ブロイ・グレアム/絵
わたなべ しげお/訳
福音館書店

シリーズ
あり



かぞく

黒がちのある白い犬ハリーはお風呂が大嫌い。お湯を入れる音を聞いて家から逃げ出します。たくさん遊んで真っ黒になって帰ると誰にもハリーだとわかってもらえません。困ったハリーは…。緑・橙・白・黒だけのわずかな配色で、町の景色や家の中の様子、表情がいきいきと描かれている素敵な一冊です。



生活習慣を 身につけよう

基本的な生活習慣の自立（食事・排泄・衣類の着脱）は1歳半ごろから始まり、4歳ごろまでには一通りのことが身につきます。また3歳を過ぎるころから、絵本の中の出来事と自分を重ね合わせることが可能になります。家族と一緒に食べるご飯っておいしいね、お風呂に入るって楽しいね。お手伝い大好き。あいさつは上手にできるかな。絵本を使えば、日常生活の難しいルールも、子どもたちにスムーズに受け入れられるかもしれませぬ。



ぐるんぱのようちえん

西内 ミナミ/作 堀内 誠一/絵
福音館書店

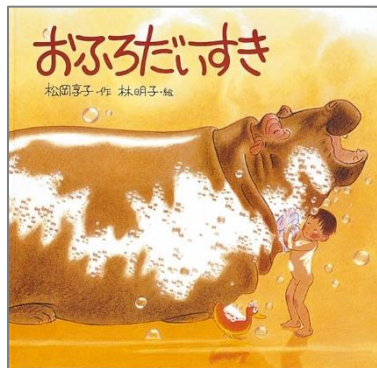


なかま じりつ

ぐるんぱはひとりぼっちの大きな象です。靴屋や工場で仕事をしますが、何を作っても大きすぎて追い出されてしまいます。しょんぼりしていると、12人の子がいるお母さんに子守を頼まれます。その時ぐるんぱが作った素敵なものとは何でしょう？水彩で描かれたキャラクターの表情にも注目です。

おふろだいすき

松岡享子/作 林明子/絵
福音館書店



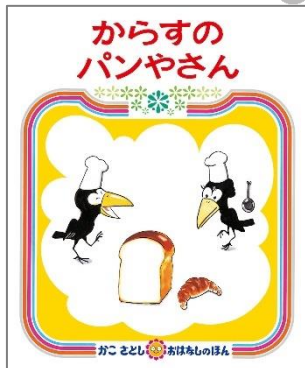
ファンタジー

まこちゃんはおふろがだいすき。いつもあひるのプッカと入ります。まこちゃんがからだを洗っていると、おゆの中からかめやかばがあらわれて…。表紙には大きなかばを洗ってあげるまこちゃんと、気持ちよさそうに笑っているかばの絵が。しゃぼん玉やシャワーなど、楽しそうなおふろの様子が、やさしい絵で描かれています。

からすのパンやさん

かこ さとし/作・絵
偕成社

シリーズ
あり



かぞく ユーモア

でんわパンにくじらパン、からすのパンやさんが4羽のこどもたちと、かわったかたちのパンをどっさり作りました。香ばしいにおいに誘われ、森じゅうの子がからすが飛んできます。それを見たあわてんぼうのゴロベエどんは…。見開きいっぱい描かれた面白パンやからすの表情に笑みがこぼれる絵本です。

あさですよよるですよ

かこ さとし/作
福音館書店

シリーズ
あり

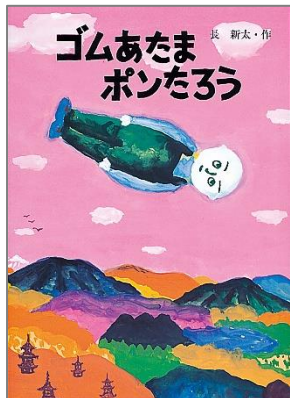


かぞく せいこつ

「あさですよー おきなさいー」「さあよるですよー おやすみなさい さようなら」。ちいさなみどりのおまめ兄弟は、家族とご飯を食べたり、にこにこえんでお友達や先生と遊んだりして、楽しく1日を過ごします。ユーモアたっぷりな語りとページいっぱいに描かれた絵で綴られる一冊です。

ゴムあたまポンたろう

長新太/作
童心社



ユーモア

あたまがゴムでできているポンたろうは、「ポン！」といろんなものにぶつかっては、すぐにどこかへ飛んでいってしまいます。次は一体どこへ向かって飛んでいくのでしょうか。子どもの心をしっかりと捉えて離さない独特の色使いとナンセンスな物語を、親子で一緒に楽しんでください。



想像力を はぐくむ

この時期の子どもは想像力が豊かになり、絵本に登場する世界観やキャラクターのイメージを自分なりに膨らませて楽しめるようになります。また、絵からストーリーを感じとり、物語の中で様々な登場人物の個性や場所を連想することで、想像力が刺激されます。

絵本は感情表現を豊かにし、自己表現力を高める手助けをします。絵本は子どもたちが本来持っている感性や想像力をさらに引き出し、豊かにしてくれるステキな贈り物でもあるのです。



まあちゃんの ながいかみ

たかどの ほうこ/作
福音館書店

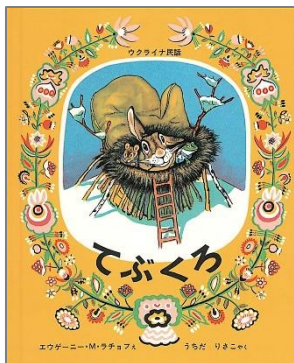


ファンタジー ともだち

長い髪が自慢の友だちに「あたしなんかね、もっとずっとのぼすんだから」と言うおかつぱのまあちゃん。長い髪で魚釣りをしたり、洗濯物を干したりと愉快的な発想が次々と飛び出します。まあちゃんが想像する世界は現実と比べて、鮮やかな色彩で描かれ、明るく楽しい気持ちにさせてくれます。

てぶくろ

エウゲーニー M ラチョフ/絵
うちだ りさこ/訳
福音館書店



冬 しぜん

おじいさんが森で落とした手袋の中に、ネズミが潜り込みました。カエルやウサギも「わたしも入れて」と集まってきて…大きなクマがやってきた時には、手袋はもうぎゅうぎゅうづめ！みんな入れるのかな？個性豊かな動物たちのユーモラスなやり取りが魅力的な、ウクライナ民話から生まれた絵本です。

わたしのワンピース

にしまき かやこ/文・絵
こぐま社



春 ファンタジー

ミシン カタカタ カタカタ。うさぎがミシンで縫った白いワンピースを着て、春の野原に出ると、あら不思議！ワンピースの模様が変わりました。繰り返される「ララン ロロン」のフレーズが、ゆったりした雰囲気を作り、ロマンチックな世界へ連れて行ってくれます。1969年に出版されたロングセラーです。

はらぺこあおむし

エリック=カール/作
もり ひさし/訳
偕成社



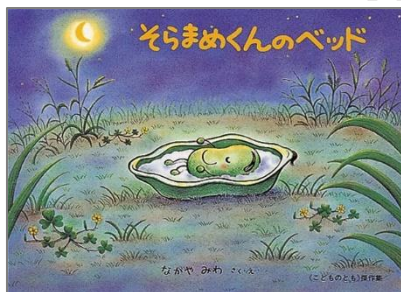
しぜん ユーモア しかけ

葉っぱの上に小さな卵。あおむしの卵です。りんご、なし、すもも…。日曜日の朝に生まれたあおむしは、1週間かけてたくさんの物を食べ、みるみる大きくなり、美しい蝶に…。絵の具で色付けした薄紙を切り貼りして描かれた絵には遊び心があり、デザイン性に富んでいます。穴あきしかけ付きの絵本です。

そらまめくんのベッド

なかや みわ/作・絵
福音館書店

シリーズ
あり



しぜんともだち

自分のさやでできたふわふわベッドを誰にも貸さないそらまめくん。ところが、あることがきっかけで、豆の仲間たちを自分のベッドに招待することに…。大切な物を他人に貸すことは、なかなかできることでありませんよね。何があったのでしょうか。登場する様々な豆が色鉛筆で細かく描かれています。



ともだちって いいな

4歳頃から思いやりの気持ちが生まれます。「自分とは別の存在」である仲間を意識することは同時に「思いやり」の出発点でもあります。

仲間の大切さを感じるとともに、自分も仲間の中の一人であることを意識するようになり、友だちとの関係性の中で、相手を許したり認めたり、悔しさやうれしさなど、お互いの気持ちをぶつけ合ったりします。また、友だちの役に立つことのうれしさや誇らしさを感じる機会も増えてきます。友だちっていいなと感じる瞬間です。



ルラルさんのにわ

いとう ひろし/作
ポプラ社

シリーズ
あり



せいかつともだち

メガネにひげ、ネクタイ姿のルラルさんは、芝生の庭をととても大切にしています。なんとある日、庭にワニがいるではありませんか。最初は怖かったものの、陽気なワニに誘われ芝生の上に寝転んでみると、その気持ちのいいこと。ルラルさんとゆかいな動物仲間たちが繰り広げる、のんびり温かな物語です。

ぐりとぐら

なかがわ りえこ/作
おおむら ゆりこ/絵
福音館書店

シリーズ
あり



せいかつ

かぞく

ともだち

お料理することと食べることがだいすきな野ねずみの兄弟、ぐりとぐらが森の奥で拾ったのはおおきなたまご。2匹は黄色くてふんわりしたカステラを作ることにしました。歌いながら焼き上がりを待っていると、匂いにつられた森の動物たちがやってきましたよ。長く親しまれているロングセラーの絵本です。

どうぞのいす

香山 美子/作 柿本 幸造/絵
ひさかたチャイルド



秋

ともだち

うさぎさんが置いた「どうぞのいす」に、ろぼさんはどんぐりを置いて昼寝を始めました。そこへ次々とごちそうを持った動物たちがやってきます。目を覚ましたろぼさんは、どんぐりがくりになってびっくり。さて何が起きたのでしょうか。動物たちが暖かいタッチで描かれ、思いやりの心を育みます。

どんなにきみが

すきだかあててごらん

サム・マクブラットニィ/文
アニタ・ジェラーム/絵
小川 仁央/訳
評論社

シリーズ
あり



ともだち

デカウサギとチビウサギは、お互いがどれくらい好きかをくらべっこしています。腕の長さや背の高さに例えますが、どちらも自分こそはと譲りません。絵は優しい色合いの絵の具とペンで描かれており、読んでいて心が温かくなります。あなたも家族や友達に好きな気持ちを伝えてみませんか。

しょうぼうじどうしゃ じふた

渡辺茂男／作 山本忠敬／絵
福音館書店



のりもの じりつ

消防署のすみっこに、ジープを改造した消防車「じふた」がいます。じふたは小さいので、大きな火事の時に活躍の場はありません。でもある時、山小屋で火事が発生、いよいよじふたの出番です。消防車を顔に見立てた絵が微笑ましく、小さなじふたの勇敢な姿に自分を重ねることができる絵本です。



勇敢に 立ち向かう

身体も心も急成長するこの頃、興味・関心、行動の範囲が広がるにつれて、新しい経験も増えてきます。しかしいつもうまくいくとは限りません。「大成功！」と思えるときもありますが、失敗して「しょんぼり」してしまうこともあります。

しかしそうした様々な経験を経て、子どもは身体も心もたくましく成長していくのです。子どもたちが勇気を振り絞って行動に移そうとするとき、そばにいてくれる存在、その大切さも絵本は気づかせてくれるかもしれませんね。



ラチとらいおん

マレーク・ペロニカ/文・絵
とくなが やすもと/訳
福音館書店

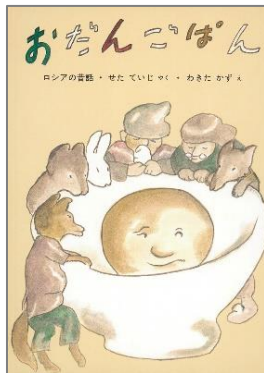


ともだち じりつ

犬も友達も暗い部屋も怖がるラチは、自分を世界一の弱虫だと思っていました。絵本を読んでばかりのラチでしたが、小さな赤いライオンと出会って変わっていきます。次第に心も体も強くなるラチは、勇気を出せるでしょうか。キュートな絵とシンプルな言葉が心に響くお守りのようなハンガリーの絵本です。

おだんごぱん

せた ていじ/訳 わきた かず/絵
福音館書店

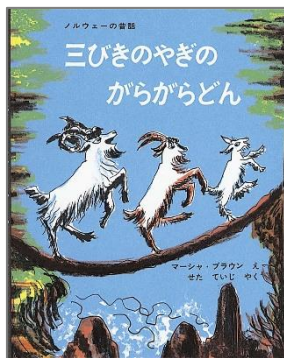


むかしばなし | あそび

おばあさんが、おだんごぱんを焼きました。さまされている間に、おだんごぱんは寂しくなって外へ逃げ出しました。道で様々な動物に出会い、食べられそうになりますが、歌を歌って逃げました。しかし、口の上いキツネに出会うと…。テンポの良いフレーズの繰返しが印象的なロシアの昔話です。

三びきのやぎの がらがらどん

マーシャ・ブラウン/絵
せた ていじ/訳
福音館書店

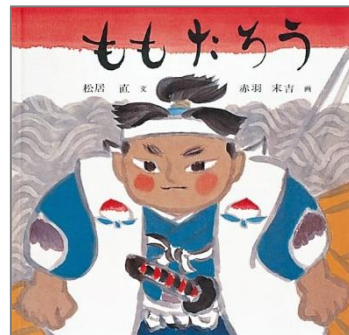


むかしばなし

“がらがらどん”とは、やぎの名前です。小さい・中くらい・大きい、三びきのやぎのがらがらどんは、草を食べようと山へ向かいます。吊り橋にさしかかると、恐ろしいトロールが出てきます。立ち向かう大きいやぎの力強い絵・荒々しい言葉は、生きる勇気と勝利の喜びを与えてくれます。北欧の民話です。

ももたろう

松井 直/文 赤羽 末吉/画
福音館書店



むかしばなし

日本の代表的な昔話です。桃からうまれた桃太郎は、おじいさんおばあさんに見送られ、きびだんごを持って鬼ヶ島へ鬼退治にでかけます。犬、猿、きじをおともに連れて。さて、最後に持ち帰ったものは何でしょう。墨絵を思わせる日本画調の絵と、テンポの良い語りが昔話の世界観を引き立たせています。

■ 中央図書館

〒611-0023

宇治市折居台1丁目1番地
宇治市文化センター内

☎0774-39-9256

■ 東宇治図書館

〒611-0011

宇治市五ヶ庄三番割36-5
東宇治コミュニティセンター1階

☎0774-39-9182

■ 西宇治図書館

〒611-0042

宇治市小倉町山際63-1
西小倉地域福祉センター3階

☎0774-39-9226



【開館時間】

- 中央図書館
平日 午前9時～午後6時
土曜 午前9時～午後5時
- 東宇治・西宇治図書館
午前9時～午後5時

【休館日】

- 月曜日
(祝日の場合は翌日)
- 毎月の第4木曜日
(祝日の場合は翌日)
- 祝日の翌日
(土・日の場合は平日に振替)
- 12/28から翌年の1/4まで
- 特別整理期間
(「としょかんカレンダー」でご確認ください)



図書館
ホームページ



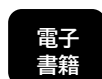
図書館
Instagram



UJICITY_LIB



図書館
LINE



電子
書籍
宇治市
電子図書館



【発行年月】2025年11月

【発行】宇治市図書館